

第4学年1組 算数科学習指導案

平成21年 7月 7日(火)

第4校時 児童数 33名

授業者 菊池 健一(T1)

(T2)

1 単元名 「記録を見やすく整理しよう」

2 単元について

本単元は2つの観点から資料を分類整理して表にまとめたり、その特徴を調べたりする力を高めていくことを目標としている。

児童はこれまでに、簡単な観点から項目を選び、表やグラフで表したり、それらを読んだりする学習を行ってきた。また、けがの種類と月を項目に選び、一次元表をもとに二次元表にまとめていく学習も行ってきた。

本単元では、本校の5月のけが調べをして、けがを少なくするにはどうしたらよいかを考えると課題をもちながら、けがの種類やけがの場所について分類・整理し、二次元表を作っていく活動を行う。そして、作成した二次元表からその特徴や傾向などを読み取り、友達に発表する活動を行っていく。

本時の指導では、前時に学習したけがの数やけがの場所の傾向を読み取るためには二次元表にまとめることが必要であることを感じさせ、実際に表を作成する作業を行う。この活動を通して、様々な学習場面で表に整理する有用性に気づき、表から特徴を積極的に読み取ってく態度と技能を身につけさせたい。また、児童は国語科や総合の学習、そして日常的なNIE(教育に新聞を)活動で新聞記事に触れる活動に取り組んでいる。そこで、今回はそれらの学習を生かして二次元表をまとめて気がついたことを記事として記述したり、その記事を友達に発表する言語活動も行う。学習したことや学習から気がついたことをきちんと記述できるようにしていきたい。

学級の中にはなかなか表の作成などの活動に取り組みにくい児童が数名いるが、TTの指導体制を生かし、個別に支援を行いながら全員が二次元表を完成させることができるようにしたいと考える。また、机間指導を行いながら、児童の気づきを積極的に引き出していきたいと考える。

3 単元の目標

- ・目標に応じて資料を工夫して分類整理しようとする。(関心・意欲・態度)
- ・表にまとめた記録を見やすく整理する方法を考える。(数学的な考え方)
- ・資料を2つの観点から分類整理して二次元表に表したり、その表から資料の特徴を読み取ったりすることができる。(表現・処理)
- ・資料を2つの観点から分類整理して、それをまとめた二次元表の表し方や読み取り方を理解する。(知識・理解)

4 単元の計画(5時間扱い)

時	目 標	学 習 活 動	おもな評価規準
1	資料を2つの観点から分類する	・けが調べの資料を、怪我の種類と場所の2つの観	考表にまとめた記録を、見やすく整理する方法を工夫して考えている。

2	方法やそのよさを理解する。 資料を二次元表に表すことができるようにする。	点で整理する方法を、一次元表をもとに考える。 ・ けが調べの資料を二次元表に整理する。 ・ 二次元表から数値や資料の特徴を読み取る。	表 二次元表から資料の特徴などを読み取ることができる。 知 二次元表の表し方や読み取り方を理解している。
3	前時にあつかった資料を、異なる観点から二次元表に表わす活動を通して、二次元表についての理解を深める。	・ 前時の資料を、学年やけがをした時間や種類などの観点で整理し、二次元表に表す活動に取り組む。	関 目的に応じて、資料を工夫して分類整理しようとしている。 表 目的に応じて分類整理し、二次元表に表すことができる。
4	2つの分類項目をもつ資料を、2つの観点から分類整理する方法を理解する。 4つの項目に分類した二次元表の読み取り方を理解する。	・ 先週と今週でそれぞれ本を借りた人と借りなかった人の人数のようすがわかるように表すには、どう整理したらよいか考える。 ・ 4つの項目に分類した二次元表に整理し、本の利用のようすを読み取る。	関 資料を二次元表に表すと、2つの観点から同時にとらえられるよさに気づき、積極的に用いようとしている。 表 4つの項目に分類した二次元表を読み取ることができる。 知 2つの分類項目をもつ資料を、2つの観点から分類整理する方法を理解している。
5	学習内容の理解を確認する。	・ 教科書の「たしかめよう」に取り組む。	知 基本的な学習内容について理解している。

5 本時の指導（2 / 5）

（1）目標

- ・ 資料の2つの観点を進んで表にまとめようとしている。（関心・意欲・態度）
- ・ 表にまとめたことから読み取れる、特徴や傾向について考えることができる。（数学的な考え方）
- ・ 資料の2つの観点を二次元表に正確にまとめることができる。（表現・処理）
- ・ 二次元表に表すよさについて気付くことができる。（知識・理解）

（2）展開

学習活動	・指導上の留意点	評価	支援	時間
1 前時の復習をする。 「どんなけがが、どんな場所で多いかを見やすくするにはどう整理すればよいでしょう。」	・ 5月のけが一覧表の拡大図を掲示し、これではけがの傾向が分かりにくかったことを想起させる。 ・ どんな表にまとめていったらよいかを児童に発表させ、前時のまとめを想起させる。			5

	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなけがが多いか、どんな場所で多いか予想したことなどを発表させる。 T 2 は前時の学習を想起できていない児童に声をかけ、学習への意欲を喚起する。 	
<div> <p>どんなけがが、どんな場所で多いか表をつかって調べよう。</p> </div>		
<p>2 表を作成する方法を確認する。</p> <p>「資料をよく見て正の字で正確に数を数えていきましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一覧表をチェックしながら正の字を書いて、正確な数を表に書きいれるように説明をする。 ・表の拡大図を掲示し、実際に書きいれるやり方を説明するようにする。 ・けがの種類やけがをした場所の項目については全員で書き入れるようにする。 <p>T 1 は全体説明を行い、T 2 は書き入れるのに手間取っている児童を個別に支援する。</p>	5
<p>3 表にまとめる。</p>	<p>机間指導を行い、児童の表に をつけながら全員の児童が正確な数値を表に記入されていることをチェックし、数値が間違っていれば数え直すようにさせる。</p> <p>T 1 と T 2 で半数の児童の支援を行うように役割分担をしておく。</p> <p>T 2 は表の作成などが苦手な A さん、B さん、C くんを重点的に支援し、表を完成させることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童に目標の時間を示し、集中して作業ができるようにさせる。 <p>関 けがの傾向について積極的に表にまとめようとしている。</p> <p>表 けがの傾向について二次元表に正確にまとめることができる。</p>	10
<p>4 表から分かることを読み取る。</p> <p>「表にまとめ終わったら、どんなけががどんな場所で多いかなどを記事にまとめましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表の作成が終わった児童には表から読み取れる傾向について考え、どうすればけがが少なくなるかということとともに記事として記述するようにさせる。 ・前時の一次元表の学習で作成した記事を掲示し、それを参考に記事をまとめやすくする。 <p>机間指導を行いながら、児童の考えを称賛し、意欲化を図る。</p>	10

<p>5 表から読み取れたことを発表し合う。</p>	<p>表から分かることを記述できない児童には、「どんなけががどんな場所が多いか」ということを書くように声をかける。</p> <p>思表から分かることについて考え、記述することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の書いた記事を発表し、どんなけががどんな場所が多く、どんなことに注意すればよいかを友達に知らせるようにする。 ・全員に発表の機会を与えるため、まずは隣の席の児童とペアをつくり、お互いに自分の書いた記事を紹介し合うようにする。 ・発表の際にはペアの友達で上手に記事を書いている児童を推薦させるようにする。 <p>T 2 は活動になかなか取り組めない A さん、B さん、C くんを重点的に支援し、発表をできるように支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員の発表のあとに、代表児童による発表を全体で行う。 	<p>10</p>
<p>6 学習のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元表にまとめるよさについて考え、学習カードに記入する。 <p>T 2 は分かったことが書けていない児童に、一次元表の時とくらべて、二次元表のどんなところがよいか確認できるように個別にアドバイスをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習したことや感想、これからこの学習を生かしていきたいことなどを発表させる。 <p>知二次元表の特徴や読み取り方を理解している。</p>	<p>5</p>

「記録を見やすく整理しよう」ワークシート

ほけんしつだより

みんなが注目しそうな
見出しをつけよう。

見出し

名 前 ()

記 事 (わかったことは？)

どこで、どんなけがが多いこと
 がわかったかな？
 どんなことに気をつければけが
 がへるかな？

表にまとめてみて気がついたよさを書こう